

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています

神事や風流を奉納し秋の実り願う

鷹尾神社秋季大祭

五穀豊穰を祈願する鷹尾神社秋季大祭が、10月21日に行われました。同神社は平安時代の貞観11(869)年の創建と伝えられ、古くは有明海に広い漁業権を持ち、瀬高下庄の荘園を守る神社でした。秋季大祭は、同神社で神事が行われ、地元の児童が小鼓や横笛の曲に合わせて風流「はんや舞」を奉納。その後、同神社から約400m先の泰仙寺橋付近にある聖母宮まで御神幸行列を行いました。行列は露払いを先頭に、笠鉾やみこし、稚児などからなり、住民総出で秋の実りを願いました。



長い隊列を組んで鷹尾神社から練り歩く御神幸行列

公演に被災した市民を招待

江口信一座 柳川特別凱旋公演

市出身の俳優、江口信さん率いる一座が喜・感動劇「ば〜い! ぞうたんのごと!」を、10月13、14日に三橋公民館で公演しました。江口さんが古里で公演するのは今年で3回目。江口さんは市内の片井そば屋の店主役を演じました。渡米していた店主の息子が、性転換をして帰ってきたことで起こる笑いと家族愛を表現した2部構成。公演には水害の被害を受けた市民が招待され、六合地区から来場した女性は「セリフのほとんどが柳川弁で親しみがあって、とても面白かったです」と話しました。



死んだふりをした店主が棺おけから起き上がる一幕

お囃子が秋の訪れを告げる

三柱神社秋季大祭「おにぎえ」

10月6日から8日までの3日間、柳川の秋の風物詩、三柱神社秋季大祭「おにぎえ」が催されました。期間中は、午前中から夜まで囃子山車「どろつくどん」や踊り山が、太鼓や横笛などの楽器を鳴らし、舞を披露しながら町中を練り歩きました。中日の7日に行われた御神幸行列には、どろつくどんや踊り山を始め、みこしや着飾った稚児などを一目見ようと、多くの見物客でにぎわいました。その日の夜に行われた大競演会では5基のどろつくどんが競演。詰めかけた見物客から大きな拍手が送られました。



大競演会で囃子にあわせて力強い舞を披露した

自由律の巨匠の人柄を伝える

緑平と山頭火展

あめんぼセンター展示ギャラリーで、「緑平と山頭火展」が10月18日から21日まで開かれました。市出身で自由律俳句の俳人、木村緑平と、緑平が物心両面で支援し、放浪の俳人として有名な種山頭火を紹介。緑平が田川で炭鉱医をしていたころや、柳川で妻の看病をしていたころなど、時代ごとに詠まれた俳句や写真などを展示。また、緑平と山頭火の交流を物語るはがきなども展示され、来場者は熱心に鑑賞していました。



約100点が展示された会場に多くの人が来場

児童たちの真剣勝負

第19回柳川市近隣市町少年ソフトボール大会

10月7日、第19回柳川市近隣市町少年ソフトボール大会が市民大和グラウンドと市民三橋グラウンドで行われました。大会には市内外から22チームが参加。選手たちは大きな声を出してピッチャーを励ましたり、打席に立つバッターに声援を送っていました。大会の結果、市内から出場した大和ファイターズが準優勝、蒲池少年ソフトボールクラブが3位になりました。また、大和ファイターズの岩井宙夢くんが敢闘賞に輝きました。



ランナーを背負うと投球にも力が入った

水も人もキラリ
川柳

今月の入選作品・課題「裏」

勝手口に届きたて柿の届く秋

宮崎 武(弥四郎町)

勝手口に届けた柿の赤に季節の移ろいと歳月の速さをあらためて知る。一年に一度、人の心の温かさを思う。鐘の音もキツネの声も聞こえそうな秋の夕暮れ。今回も中島小学校から50人120句もの応募が嬉しい。 流青

- 表より心の裏があたたかい
あしのうらみかん食べたらまっ黄色
自分にもかくれた裏があるのかな
裏の山キツネがコンと鳴く日ぐれ
路地裏を転がしながら来る噂
抜け道をこしらえてある裏通り
純な目に心の裏を洗われて
渡り鳥足裏見せて飛び立ちぬ
速達の差出人を急ぎ見る
裏方に徹して生きる潔よく
賑やかな往事を偲ぶ裏通り
密やかに昭和息衝く裏小路
裏戸から忍び帰った若き日も
裏通り猫が一匹すたすと
菊の花裏で流した涙知る
裏口にもぎたて野菜やつて来る
うまいもの食わせる店は裏通り
裏縁を開けりや緑の鋭気浴び
障子の裏淋しい父の影法師
怪物と裏の努力も知らないで
世の中の裏も許せる歳になり
- 高口七海 (中島小6年)
 - 横枕紀重 (中島小6年)
 - 甲斐田いぶき (中島小6年)
 - 中原由美子 (百町)
 - 江口和子 (今古賀)
 - 佐藤良子 (蒲生)
 - 石川百合子 (材木町)
 - 森 フチエ (弥四郎町)
 - 古賀麗子 (吉原)
 - 大橋ミヨ子 (六合)
 - 砥上征夫 (鷹ノ尾)
 - 野片義博 (隅町)
 - 鶴岡定子 (東蒲池)
 - 西山幸子 (垂見)
 - 坂田洋子 (上宮永町)
 - 川淵 学 (佃町)
 - 佐田輝喜 (明野)
 - 荒巻ミエノ (南浜武)
 - 吉開綾子 (筑紫町)
 - 梅崎省二 (佃町)
 - 重松秀秋 (萩屋町)

川柳を募集しています。選句者は梅崎流青さん。12月の課題は「声」です。入選作品は12月1日号に掲載します。

●応募方法 川柳と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスマまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係(☎77・8425、☎74・5520)へ、11月15日(※必着)までにお送りください。

芋づぶるの先歓声が待っている

流青